

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全管理学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 702教室
担 当 教 員	藤原真喜子、澤悟史	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》 本科目では、診療放射線技師として活動するに際して、自護の役割と、自護の状況を自覚し、それらを克服し、患者や看護の視点を持って患者対応することの重要性を理解し、診療放射線技師の仕事の中での、患者の安全・感染予防を考えた医療行為を行えるよう学習します。また平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行され、医療現場において抜針等の業務が診療放射線技師の業務範囲に含まれることになった。拡大された範囲の内容について演習を含めて学習します。					
《成績評価の方法と基準》 受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業の目標の達成度で判断する。 ①筆記試験+レポート:70% ②平常点(出席点、授業へ取り組む姿勢):30%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 配布資料					
《授業外における学習方法》 各講義の予習、復習					
《履修に当たっての留意点》 グループ実習の際は、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。取り組む姿勢や身だしなみ、態度なども評価に考慮します。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 医療安全に関する歴史的背景を知り、現在の医療安全政策を理解する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
	各コマにおける授業予定	医療事故の歴史(1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 医療安全に関する歴史的背景を知り、現在の医療安全政策を理解する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
	各コマにおける授業予定	医療事故の歴史(2)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでに起きた医療事故を医療事故調査報告書から学び理解する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
	各コマにおける授業予定	医療事故調査報告書			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでに起きた医療事故を医療事故調査報告書から学び理解する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
	各コマにおける授業予定	医療事故調査報告書			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する	
	各コマにおける授業予定	事例検討			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	事例検討		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	RCA分析法を理解し、医療事故の根本原因を見つけ出し対策を立案する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	RCA分析法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年に改正された診療放射線技師法について理解する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	ガイダンス、診療放射線技師法の改正内容		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈路の穿刺・抜針・止血に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	上腕血管解剖の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺・抜針・止血に必要な知識と技能 ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	静脈路の穿刺・抜針・止血に関する必要な知識と医療安全について理解し、安全に適切に実践することができる。	配布資料	前講義内容(第7回)の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺・抜針・止血に必要な知識と技能 ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)に関する必要な知識を理解する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)に関する座学		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)を適切に実践できる。	配布資料	前講義内容(第2回)の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS) ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査や下部消化管カテーテル挿入・吸引に関する必要な知識と医療安全について理解し、実践することができる。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査、下部消化管カテーテル挿入・吸引に必要な知識と技能＜シミュレーションによる実技演習＞		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査や下部消化管カテーテル挿入・吸引に関する必要な知識と医療安全について理解し、実践することができる。	配布資料	前講義内容(第13回)の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査、下部消化管カテーテル挿入・吸引に必要な知識と技能＜シミュレーションによる実技演習＞		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	手指衛生の概要を理解し演習にて実践できる。医療施設における清潔・不潔の概念を理解し、実践することができる。	配布資料	前講義内容(第13回)の復習
		各コマにおける授業予定	手指衛生演習(手指洗浄)＜実技演習＞ 清潔・不潔の概念、診療放射線技師が従事する医療現場での清潔操作、清潔ガウン着用演習＜実技演習＞		